

記者会見資料
平成27年5月26日(火)
産業部観光課(観光係)
担当: 畠山(内531)

「ツール・ド・東北 2015」に気仙沼ワンウェイフォンドが新設

～三陸沿岸の2市2町(気仙沼市、石巻市、南三陸町、女川町)を舞台とするサイクリング・イベント～

■本年9月13日(日)に「ツール・ド・東北 2015」が開催されます。※今年で3回目

■全部で5つのフォンド(コース)が設定されており、昨年に引き続き、気仙沼市が折り返し地点となっている2つのフォンドに加え、今年に気仙沼市をスタート地点とする“気仙沼ワンウェイフォンド”が新設されました。 ※詳細は下記参照

■およそ1,800人のライダーが気仙沼市内を走行することが見込まれ、市内にエイドステーション(休憩所)が3カ所(①階上小学校、②道の駅大谷海岸、③蔵内漁港)設置されるほか、岩井崎園地内には給水所が設置される予定です。

■各エイドステーションでは、地元の方々にご協力いただきながら、こだわりの軽食でライダーの皆様をおもてなしする予定です。

■順位やタイムを競うレースではなく、被災地の今を肌で感じてもらうとともに、三陸海岸の風景と地元の方々との交流を楽しんでいただくイベントです。

■募集定員は3,500名で、5月19日(火)募集開始、締め切りは6月1日(月)23時59分となっております。※応募者多数の場合は抽選→結果は6月8日(月)にEメールでお知らせ

■詳しくは公式ホームページをご覧ください。→検索「ツール・ド・東北 2015」

【開催概要】

- 1 日 時 平成27年9月13日(日) 午前5時30分スタート
(気仙沼ワンウェイフォンドのみ午前8時30分スタート)
- 2 開催目的 東日本大震災の復興支援及び震災の記憶を未来に残すこと
- 3 主催 株式会社河北新報社 ヤフー株式会社
- 4 共催 宮城県 気仙沼市 石巻市 南三陸町 女川町
一般社団法人東北地域づくり協会 株式会社三陸河北新報社 A.C.O inc.
- 5 各フォンド

コース名	距離	スタート地点	折り返し地点	ゴール地点
①気仙沼フォンド	211 km	石巻専修大学	気仙沼プラザホテル	石巻専修大学
②気仙沼ワンウェイフォンド	95 km	気仙沼プラザホテル	なし	石巻専修大学
③南三陸フォンド	170 km	石巻専修大学	津谷	石巻専修大学
④北上フォンド	100 km	石巻専修大学	神割崎	石巻専修大学
⑤女川・雄勝フォンド	60 km	石巻専修大学	雄勝	石巻専修大学

※②は折り返しのない「片道コース」につき、主催者側で参加ライダーの手荷物(1個限り)をお預かりし、ゴールまで運搬する予定です。

関連する市震災復興計画重点事業
No.122 観光イベント支援
No.123 誘客宣伝支援

～補足～

■過去2回のフォンド

- ・第1回大会（2013）は3フォンド ※全て石巻専修大スタート・ゴール
 - ① 160 km（歌津折り返し） ②100 km（神割崎折り返し） ③60 km（雄勝折り返し）
- ・第2回大会（2014）は4フォンド ※全て石巻専修大スタート・ゴール
 - ① 211 km（気仙沼プラザホテル折り返し） ② 170 km（津谷折り返し）
 - ③ 100 km（神割崎折り返し） ④ 60 km（雄勝折り返し）

■「ツール・ド・東北2015クルー」

イベントの準備・運営を支えるボランティアも募集します。

【業務内容】選手案内，休憩所運営，駐車場誘導，コース管理等々

【参加資格】15歳以上の男女（中学生は保護者か引率者の同伴が必要）

【参加特典】次回大会の「ライダー優先出走権」が得られます。

大会オリジナルTシャツ・帽子が進呈されます。

【申込期限】6月30日（火）

※詳しくは公式ホームページをご覧ください。→検索「ツール・ド・東北2015」

■「ツール・ド・東北応“縁”飯」

地元の方が参加ライダーを“食で応援”し，イベント参加者が東北を“食べて応援”することで，イベントに関わる人と人とを結ぶフードイベント

→9月12日（土）・13日（日）の2日間，スタート・ゴール地点の石巻専修大学において開催することで，現在企画進行中 ※気仙沼市物産協会も出展予定

■広報大使：道端カレン（モデル）

過去2回も応援大使を務め，ライダーとしても参加

- ・一昨年は160km（歌津折り返し），昨年は211 km（気仙沼プラザホテル折り返し）を走破
- ・今回は「気仙沼ワンウェイフォンド」95 kmへの参加を表明
- ・5月19日（火）に都内で行われた記者会見で，「休憩所で食べたおにぎりと，児童のメッセージに元気と笑顔をもらった」とコメント。※階上小学校エイドステーションと思われま

■東北応援大使：佐藤真海（サントリーホールディングス（株）CSR推進部／パラリンピアン）

：中西哲生（スポーツジャーナリスト／サッカー解説者）

- ・本市出身の佐藤真海さんは，過去2回も東北応援大使を務め，ライダーとしても参加
- ・昨年は道の駅大谷海岸で，地域の方々から結婚祝いの花束がサプライズで贈呈されました。

■グルメ応援大使：フォーリンデブ橋本陽（グルメブロガー）

■Special Thanks：羽生結弦（フィギュアスケーター）

チャリティーオークション商品提供等

：MONKEY MAJIC（アーティスト）

「ツール・ド・東北2015」公式テーマソング「rise」の提供
ライダーとしても出場を表明